

# 春秋会

ニュースレター

2022.11

今月のニュースレターも豪華なラインナップでお届けします。  
皆さまからのご意見・ご感想など、広報委員一同楽しみにしています。

## 第48回 大阪弁護士会運動会のリレー

久井大輝(73期)

令和4年10月9日(日)、午後から雨予報の中、万博記念公園において、大阪弁護士会大運動会が3年ぶりに開催されました。

各会派対抗リレー(以下単に「リレー」といいます。)の詳細は以下のとおりとなります。

大会当日の朝、午後から雨予報ということもあり、リレーのスタート時間が14時半から13時に変更になりました。スタート時間が早まった連絡がリレーのメンバーに周知されず、メンバーが集まらないという事態が発生しました。春秋会リレーの首脳陣である濱田先生、山口先生が頭を抱えながらメンバー探しに奮闘し、何とかメンバーを確保しました。

第1走の高江俊名先生のスタートダッシュは素晴らしく、首位のまま、第2走の岩本朗先生にバトンが渡り、第3走の富井和哉先生、第4走の濱田雄久先生と首位を死守しました。



### ●今月の予定

- ・11/5(土) 若手会グランピング企画
- ・11/7(月) 18時半 研修委員会企画「裁判官!当職そこが知りたかったのです。」
- ・11/19(土) 若手会「各期対抗ゴルフ」
- ・11/19(土) ゆるゆるゴルフ
- ・11/22(火) 12時 幹事会
- ・11/22(火) 19時 親睦委員会「ワインのタベ」



その後、急遽参加することになりました第5走の松尾洋輔先生及び第6走の田中智晴先生のところで五月会に抜かれたものの、何とか食らいつきながら首位との差を広げずに、第7走の山口昌之先生にバトンが渡りました。すると、五月会のランナーが転倒し、春秋会が首位に返り咲きました。首位のままアンカーである第7走の私にバトンが回ってきました。

## 2022 年度 広報委員

- ・堀川 智子 (57 期、委員長)
- ・西原 和彦 (55 期、担当副幹事長)
- ・有村 とく子 (50 期)
- ・中森 俊久 (55 期)
- ・山口 昌之 (58 期)
- ・浦 寛幸 (59 期)
- ・広瀬 元太郎 (60 期)
- ・柳 勝久 (61 期)
- ・山田 寛子 (65 期)
- ・金 星姫 (66 期)
- ・木場 晶子 (67 期)
- ・田村 瞳 (67 期)
- ・板崎 遼 (67 期)
- ・吉留 慧 (68 期)
- ・高 一成 (69 期)
- ・根本 俊太郎 (70 期)
- ・佐久間 ひろみ (71 期)
- ・足立 敦史 (71 期)
- ・村本 健司 (71 期)
- ・河野 哲平 (71 期)
- ・才木 晴幹 (72 期)
- ・久井 大輝 (73 期)
- ・山本こずえ (73期)
- ・佐々木崇人 (74期)
- ・神澤鈴子 (74期)

山口先生からバトンをもらった私でしたが、何とか先生方と優勝したいという思いが強く、いきなりトップスピードを出したことにより、走り始めて30Mほどで左足の太ももと右足のふくらはぎの両方が攣ってしまいました。

その後、私がどのような走り方で走ったのか全く覚えていないが、転ぶことだけはできないという思いで、必死で走り、何とか2位を死守することができました。



少しリレーから話がそれますが、我らが福田会長も、ラグビーリレーで活躍されておられました。



メンバーが集まらないトラブル、足が攣ってしまうというトラブルがありましたが、春秋会は2位という結果になりました。春秋会リレーの首脳陣いわく、今回のメンバーを考えると2位でも十分な成績ではありますが、来年は1位を奪還すべくメンバーを募集しているとのことでした。

我こそはという方がいらっしゃいましたら、私までご連絡いただければと存じます。

### 1 古典芸能と人間国宝

通称「人間国宝」。

正確には、文化財保護法71条2項に基づいて、文部科学大臣が認定した重要無形文化財の保持者又は保持団体のことだそうです。

古典芸能の世界には、たくさん人間国宝がいます。

ご存命の方で代表的な人物を挙げます。

能楽ではシテ方の梅若六郎、大槻文蔵、小鼓の大倉源次郎、大鼓の亀井忠雄、狂言の野村萬、野村萬作。

文楽では太夫の豊田咲太夫、三味線の鶴澤清治、人形遣いの桐竹勘十郎。

歌舞伎では尾上菊五郎、片岡仁左衛門、板東玉三郎。

ちなみに私は、文楽(人形遣い)の人間国宝・吉田蓑助さんを、地下鉄堺筋線の電車内で見かけたことがあります。「なんかお洒落なお爺さんだな～。はて、どこかで見たような。」と思いながら、「あっ、吉田蓑助や。人形遣ってるときと、全く同じ表情してはる。」と気づき、思わず「こ、ここに人間国宝がいますよー!!」と叫びそうになりました。

(国立文楽劇場のある)日本橋で降りられたので、舞台の出番だったようですが、地下鉄で通勤されているのは意外でした。

さて、落語で人間国宝と認定されたのは、柳家小さん、桂米朝、柳家小三治の3人。残念ながら、皆さん他界されています。

長生きしていれば人間国宝になれたのではと私が個人的に思っているのは、桂枝雀、立川談志、古今亭志ん朝。

この中で私が実際に舞台で見ることができたのは、桂米朝、桂枝雀、古今亭志ん朝です。今回はこの3人を取り上げます。

### 2 桂米朝

私は、大阪府八尾市の出身で、ちょっとガラの悪い「河内弁」。そのため、「大阪(正確には河内)の言葉って、品がなくて恥ずかしいな・・・」という劣等感がありました。

そんな少年時代、テレビかラジオで桂米朝の落語を耳にしました。歌うような、流れるような柔らかで上品な大阪弁。「なんて綺麗な言葉と話し方なんだろう!!」と、すっかり虜になりました。

米朝さんは姫路の出身なので、本来は播州弁(明石の泉市長を思い浮かべ・・・いや、何でもありません)なのでしょう。しかし、小さい頃から落語を聞いていたからか、それとも神主をしていたお父さんの影響か、米朝さんは船場言葉。商人が客に丁寧に接するために、京ことばを多く取り入れてできた方言ですから、やはり品があります。

大阪の言葉に自信を取り戻した私は、その後、東京地検で働いていたときも、河内弁で通しました。被疑者がなんか少し怖がっていたように思うのは、きっと気のせいでしょう。

さて、米朝さんは、継承者が少なくなって滅びかけていた上方落語について、古い噺をたくさん発掘しました。大勢の弟子も育てて、現在の上方落語の隆盛を築きあげた大功労者です。

おすすめのネタはたくさんありますが、隠れて豪遊しているのがばれてしまった番頭の滑稽さと旦那の優しさが光る「百年目」が素晴らしいです。

### 3 桂枝雀

いわずと知れた落語界の爆笑王。舞台を終えて緞帳が降りても拍手が鳴りやまず、落語会初のカーテンコールを受けたエピソードは有名です。

百面相ともいうべき豊かな表情、素っ頓狂な声、座布団の上で暴れまわる派手なしぐさ。その面白さは、MIにもキングオブコントにも負けません。

実は枝雀さんの長男は、43歳になってから、桂りょうばという名前で落語家になりました。顔も声もそっくりなので、懐かしい感じがします。

枝雀さんのおすすめネタは「宿替え」。長屋から引っ越しをしようとしている、ちょっと、というかだいぶ抜けている男のドタバタ噺で、何度見ても爆笑してしまいます。

### 4 古今亭志ん朝

私が、志ん朝さんを舞台上で初めて見たのは、修習のために上京し、浅草演芸ホールを訪れたときのこと。誰かの襲名披露公演で、トリでもなんでもなく、中途半端な順番でふらっと舞台に現れました。客が「志ん朝だ、志ん朝だよ」とざわついたことを覚えています。

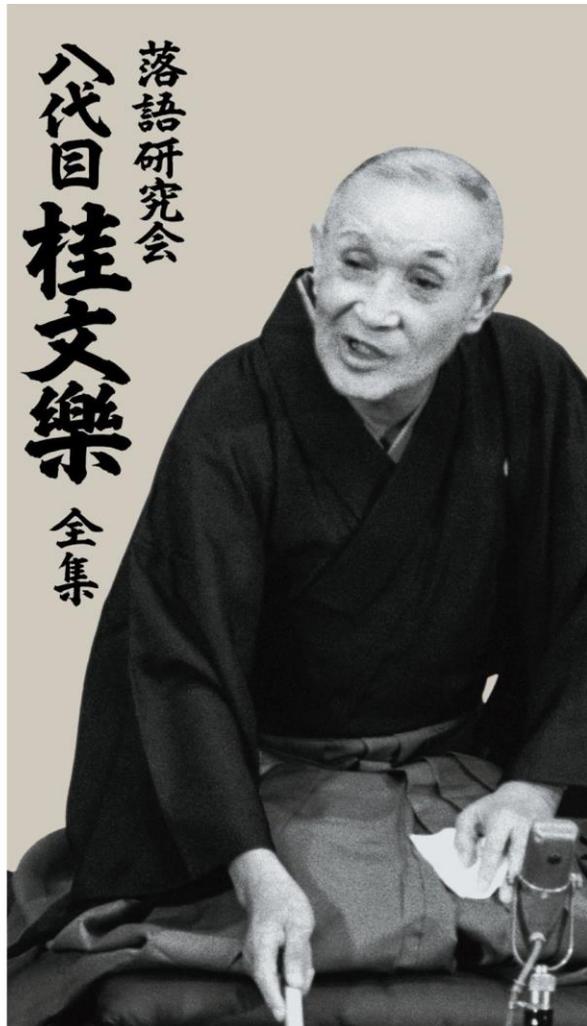
そのとき披露したネタは「あくび指南」。習い事として、あくびの仕方を教わるという、なんともどうでもいい噺ですが、正に「江戸前の粋」としかいいようのない、独特の空気が流れていました。

江戸っ子らしい、威勢のいいポンポンとした語り口は聞いていて気持ちがいいです。志ん朝さんのお兄さんも、十代目金原亭馬生という落語家。でもキャラクターは全然違って、すごい地味なんですけど、とても渋みのある独自の芸風でした。

志ん朝さんのおすすめネタは「文七元結」。ばくち好きの男が、娘が身売りして得た50両を受け取ります。その帰り道、大切な店の集金をすられてしまったことで身投げしようとしていた若い奉公人と出会って、勢いでその50両を渡してしまい、それから・・・という人情噺の傑作です。

米朝、枝雀、志ん朝の落語はいずれも、たくさんの種類のCDやDVDが出ており、楽しむことができます。是非、一度ご覧ください！

※引用写真は、八代目桂文楽のDVD。本文では紹介できませんでしたが、昭和の大名人で、端正と粋の極みです。



## 春秋新人歓迎旅行

松浦 奨(74期)

2年ぶりに開催された春秋会新人歓迎旅行。今回の旅行先は金沢でした!!

朝9時に大阪に集合してさあ出発!と思いきや、集合を新大阪と間違えたおっちょこちょい者が何名か…。新大阪からでも乗れるチケットだったので無事全員乗車し、金沢へ出発しました。レクリエーションとして総数60問に及ぶクイズを用意くださり、退屈しない道中となりました。

到着した会員一行は二手に分かれて昼食をいただきました。一方は「六角堂」にてステーキをいただきました。目の前でお肉を好みの加減に焼いていたいて食べるという贅沢な昼ご飯。お肉は柔らかく、大変美味でした。



←嬉しそうにお肉をほおぼる久井先生(73期)。

もう一方は「割烹田村」にてお寿司等をいただいたみたいです。



←濱田先生  
(47期)、  
垣岡先生  
(73期)、  
徳山先生  
(73期)、  
木澤先生  
(74期)、

昼食後は

バスにて和倉温泉街まで移動。今回の宿は、かの有名な高級旅館「加賀屋」さんでした。外観もさることながら、中の様子もその辺の宿とは大違い。個人的な話ですが、私は修習中(富山)に和倉温泉に日帰りで行ったことがありますが、修習生の財力では当然「加賀屋」さんには手が出せず。念願の「加賀屋」さんを利用してきて感無量でした。



温泉でさっぱりした後はお待ちかねの宴会。新人の自己紹介をはじめ、道中のクイズの高成績者の発表等、大変盛り上がった宴会となりました。宴会の後はカラオケにて2次会。若手からベテランまで、喉自慢達が美声を披露し、こちらも大変盛り上がり、初日の幕を下ろすこととなりました(その後宿の外へ繰り出して摩訶不思議な体験をした人がいるとかいないとか)。



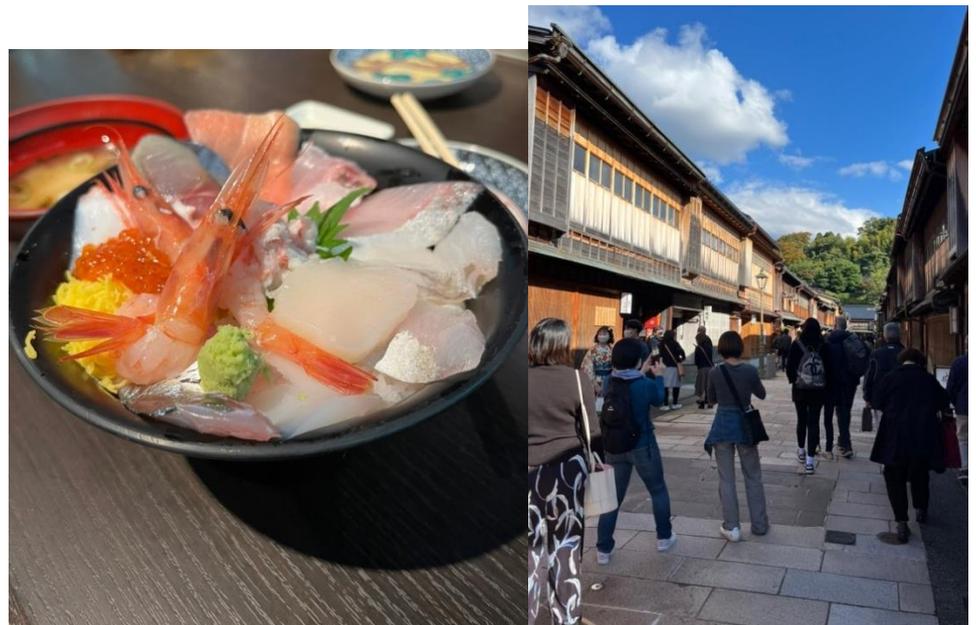
↑【左写真】皆さんからイジられている佐々木先生（74期）。

【右写真】司会進行中の西田先生（63期）、満村先生（72期）。



2日目は宿で朝食をとった後、バスで金沢市内の兼六園まで移動して庭園を鑑賞。兼六園近くの金沢城公園やガラス張りのおしゃれ裁判所も楽しみました。

その後は近江町市場にて昼ご飯を摂り、東茶屋街を散策しました。海鮮丼やお寿司を堪能しつつ、生ガキ等の食べ歩きも楽しみました。東茶屋街では趣のある街並みを楽しみました。たくさんの美味しいものを食べて大満足ですが、なぜか私の財布の中のお金は1円も減りませんでした!!!



1泊2日と短期間の旅行でしたが、大変楽しい旅行となりました。企画してくださった親睦委員会の皆様、ありがとうございました!!



最後にクイズです。兼六園付近を散歩していると以下の写真の建物がありました。さて、何の建物でしょうか。①歯科医院、②交番、③弁護士事務所



## 平壤旅行記～レジャー編

金星姫(66期)

### 1 はじめに

私は今まで4回、朝鮮民主主義人民共和国(日本では「北朝鮮」と呼ばれているところ。以下、「朝鮮」といいます。)の首都、平壤を訪れました。ここでは2016年9月の旅について書こうと思います。今回はレジャー編ということで、①紋繡(ムンス)遊泳場、②朝鮮中央動物園をご紹介します。

朝鮮については「毎日軍事パレード」みたいなイメージをお持ちの方もいらっしゃると思いますが（当然毎日軍事パレードしているはずはありませんが）、そんなイメージは一旦横に置き、市井の人々の生活ぶりをほんの少し見てもよいくらいの気持ちで読んでいただけると嬉しいです。

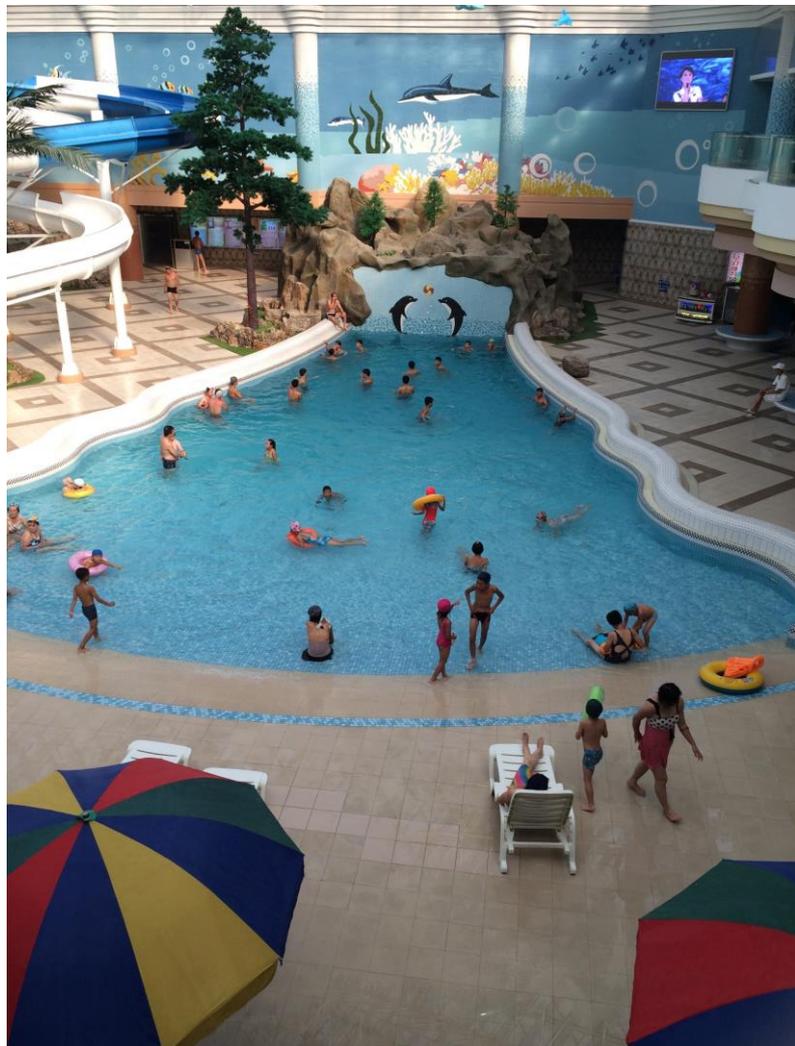
## 2 紋繡(ムンス)遊泳場

旅先で、記念写真用の顔をはめるパネル?をよく見かけますが、私はこのパネルを素通りできないタイプです。紋繡遊泳場の入口にも例に漏れず「顔はめパネル」があり、旅先感のある写真を撮って大満足です（隣に写っているのは、一緒に旅行した白充弁護士（沖縄弁護士会））。



広大な敷地内には、ウォータースライダーや流れるプール等があり、家族連れなどたくさんの人々が訪れており、子どもたちの楽しい声が響き渡っていました。私は日本から水着を持参しておらず、残念ながらプールに入ることはできませんでしたので、また機会があれば、水着を持参して紋繡遊泳場のウォータースライダーにチャレンジしようと思います。





施設の中は、プールだけでなく、ヘアサロン、カフェ、テニスコートなどもあり、「遊泳場」と銘打ってはいますが、総合レジャー施設という感じでした。

ヘアサロンに掲げられていたヘアカタログ的なポスターには、「波型」「扇型」「祝砲型」(!?)等ヘアスタイルに名前がついていました。おしゃれを楽しむ気持ちは万国共通です。



### 3 朝鮮中央動物園

別の日、平壤の中心地にある、朝鮮中央動物園に遊びに行きました。入口は大きな口を開けた虎が門となって出迎えてくれました。



学校や幼稚園の遠足なのか、引率の先生に連れられて大勢の子どもたちが並んでいました。中にはとびきりおしゃれしてチョゴリを着て並んでいる子もいて、学校行事に張り切って参加している様子が微笑ましく思いました。家族連れや団体さんも多く見られ大変な賑わいでした。敷地内があまりにも広く爬虫類館とお魚館、自然博物館しか行けませんでした（他にもたくさん館舎がありました）。朝鮮の人々に混じって私たち一行も、ワニや亀など楽しく色々見物しました。中央動物園には顔はめパネルは見あたりませんでした…（残念）





#### 4 おわりに・次回予告

大阪からの直線距離が北海道よりも近い朝鮮ですが、日本とは政治的緊張関係にあり、気軽に行ける場所ではありません。「近くて遠い国」が一日でも早く「距離も心も近い国」になって、気軽に旅行できる場所になればいいですね。

次回は、グルメ編と題して、①玉流館（オンリュグァン）：朝鮮を代表する平壤冷麺の名店、②万寿橋（マンスギョ）清涼飲料店：普通江のほとりにあるビアホールの2箇所をお届けしようと思います。

## 今月の一曲

### ～Where the streets have no name～

青木 佳史(41期)

ただこの一曲を聴くために、ただイントロのギターリフを生で聴きたいがために、さいたまスーパーアリーナまで駆けつけた。2006年、そして、2019年。

アイルランドのロックバンド、U2が、1987年に出したメガヒットアルバム「ヨシュア・トゥリー」の冒頭に収めた一曲

「Where the streets have no name (約束の地)」は、以来、いつだって彼らのライブのクライマックスにかかせないチューンとして奏でられている。



まずはライブ演奏を見てほしい。2001年、地元ダブリンでのライブ。

<https://youtu.be/UPDtSUz8 TE>

エッジ(ギタリスト)のギターが奏でる鐘の音を想わせるイントロのアルペジオで言われもない高揚感が醸しだされるや、ラリー(ドラムス)のアフリカンリズムを打ち出すスネアドラムの鼓動、アダム(ベース)の大地からうねるようなベースラインが展開し、ボノのハイトーンボイスが語り出す。



生まれ落ちた通りの名前によって差別されることのない誰もが多様に暮らす世界への憧

れを。

ボノは、ダブリンでカソリックの父とプロテスタントの母の間に生まれ育つ。今年の映画「ベルファスト」(監督ケナス・ブラナー)にも描かれた内戦にまで至る激しい北アイルランドの宗教対立は、通りの名前により、その家の宗教や職業、収入までわかってしまうほどに住み分けられ、固定化された階級社会に根源がある。ボノもまたその葛藤の中で育ち、そこから抜け出し理想の社会を追い求めようとする希少なバンドへとつながる。

歌詞は、バンドがエチオピアに旅した時、通りには名前などはなく、誰もが生まれによって左右されることなく生きている（ように見える）村を訪れ、そこに見出した希望をヒントに作られたという。

とはいえ、この曲はエッジのギターが全てである。とにかく体がゾクゾクする。駆け出したくなる。ギターソロもなく、泣きのフレーズもないのに、イントロのアルペジオと弾むカッティングだけで、これほどに感情を湧き立てるギターが他に  
あるだろうか。8分の6拍子のアルペジオからドラムが入る直前に4分の4に転拍子する仕掛けもグッとくる。



ライブ映像に映る観客の反応は、その場に居合わせるとわかるが、誰もが自然とそうなる。衝動のようなものだ。アメリカの巨大なスタジアムでさえ、アメーzingグレイスに続けて奏でられた時に生まれる一体感には驚く。

<https://youtu.be/Eo8l3UQbW8s>



この曲の邦題は“約束の地”。アフリカの大地に希望を感じて35年。未だこの世界のどこにも約束の地を見出すことなどかなわないが、どんなにビッグになろうとも、偽善的と揶揄されようとも、社会的行動や慈善活動を続け、この曲を「真っ直ぐ」に奏で続ける彼らのライブに、私たちは一条の光を見つけに駆けつけるかもしれない。

※ 最後に、イングランドのグラストンベリー・フェスティバル2011年の演奏を。

お互いの違いを踏まえて支え合うことを歌った「One」に続けての演奏は彼らの真骨頂。

<https://youtu.be/xxK2rt4dN7Y>



## 執行部だより

### オフライン企画もお気軽にご参加ください!

幹事長 飯島 奈絵(46期)

幹事長の任期(1年)の前半戦が終わりました。

9月26日に定時総会+懇親会を、9月29日(日弁連人権大会@旭川1日目の晩)に会派懇親会+二次会を開催し、タテヨコナナメの歓談で盛り上がりました。「初心『市民のための裁判官』として生きる」(名著です!)を発行されたばかりの森野俊彦先生(23期)から74期が直接あれこれお話を伺う姿に、「これぞ会派の醍醐味」と思いました。旭川の二次会には、他単位会へ登録替えをした春秋会準会員等の合流もありました。

大弁運動会(10月9日)にはお子さん連れの先生方・事務局さんに多数ご参加いただきました。朝、会場到着直後に、会派対抗綱引きへのエントリーを申告くださった小学生さんもおられ、運動会前のMLでの呼びかけに反応いただいたことをとても嬉しくて思いました。未就学児さんも就学児さんも、参加可能な競技に片っ端から参加、他ではありえないフワフワバルーン遊び倒し、各種ゲームでの賞品多数ゲット等、楽しい休日を過ごしていただいかと存じます。大弁運動会はハイハイの0歳児から参加できる企画があります。子どもが塾で週末忙しくなるまで、年1回の運動会に子どもと一緒に参加できる機会は実は数えるほどしかありません。是非、お子さんにご参加ください。

春秋会では、可及的に多数の方にご参加いただけるよう、総会、幹事会、委員会等をオンライン開催しています。

これに加えて、リアルで顔を合わせて懇親し、事務所外でタテヨコナナメにつながることは、仕事で悩んだ時、事務所内で相談できない時のクモの糸ともなりうる重要な絆ですので、各種企画に若手会員も参加しやすいように行事参加

費、委員会活動活性化費制度を新設しました。総会・研修会後の懇親会、親睦旅行、各種親睦企画にお気軽にご参加ください。

後半戦では、幹事長から会務関連でお願いの電話/DM をさせていただく機会が増えるものと思われます。弁護士の仕事には色々な側面があり、業務とは違う経験や出会いは、人生の幅を広げ、本業にも戻ってくると思っています。お願いの電話/DM がありましたら、ご快諾いただきますようお願いいたします。



## ニュースレターの原稿大募集します

広報委員会といたしましては、このニュースレターを双方向的なものにしたいと思っており、皆様の原稿を大募集します。ぜひ、投稿ください。

- 1 今までのニュースレター・会報の記事に対するご意見
- 2 子育て体験談
- 3 変わった国に行った旅行記
- 4 ペットや趣味の紹介
- 5 感動した本、マンガ、ゲームの紹介

下記にお送りいただければ、ニュースレターに掲載させていただきます（もちろん、一定の審査はさせていただきますが…）

[horikawa@lion-law.com](mailto:horikawa@lion-law.com)